

目 次

はしがき

序 章	批判的安全保障論とは何か …… 南山 淳／前田 幸男	I
1	本質的論争概念としての「安全保障」再考	I
	——その規範性・相対性・具体性・暴力性	
2	批判的安全保障論を文脈に位置づける	3
3	批判的安全保障論の意義と課題	8
	——「解放」とは何か、またはいかに構築されるのか	
4	本書の意義	11
5	本書の構成	12

第 I 部 アプローチ

第 1 章	社会構成主義と批判理論 …… 五十嵐 元道	16
1	核と日本	16
2	社会構成主義アプローチ	17
3	隣の迎撃ミサイル	23
4	批判理論アプローチ	24
第 2 章	ポスト構造主義と国際政治社会学 …… 前田 幸男	33
1	なぜポスト構造主義なのか？——言語論的転回に呼応して	33
2	安全保障研究におけるポスト構造主義的転回	40
3	国際政治社会学	41

4	例外状態を通した安全保障の確保	42
5	残された課題	45
第 3 章	セキュリティゼーション…………… 大山 貴稔	50
1	国家の脅威、市民の自由、民主主義——スノーデンの暴露をめぐって	50
2	セキュリティ概念の問い直し	51
3	セキュリティゼーションという分析視角	54
4	日本語で考えるセキュリティゼーション	60
第 4 章	ポストコロニアリズムと安全保障…………… 清水 耕介	66
1	国際秩序と帝国秩序	66
2	ポストコロニアリズム批評	67
3	広義のポストコロニアリズムの世界性	71
4	ポストコロニアリズムと国際関係	74
5	ポストコロニアリズムと安全保障	78
第 5 章	ジェンダー化する安全保障…………… 和田 賢治	82
1	男らしさのジレンマ	82
2	ホモソーシャルな国際関係	83
3	「保護の神話」は誰を守るのか	86
4	沈黙を破る困難	89
5	ケアの倫理という対抗言説	92

第Ⅱ部 争点と事例

第 6 章	環境と批判的安全保障……………前田 幸男／蓮井 誠一郎	98
	——気候の危機からジオ・パワーへ	
1	環境危機の背景	98
2	環境の安全保障問題化	99
3	気候安全保障論の登場とその意義	102
4	エコロジカルな安全保障とは？——気候危機に向き合うために	110
5	ノン・ヒューマンと連帯してつくる環境安全保障	115
	——技術的応急措置を超えて	
第 7 章	保健と批判的安全保障……………前田 幸男	121
	——人命は防衛されなければならない？	
1	保健の意味の多義性	121
2	疫病との戦いの歴史——農耕、定住、そして動物の家畜化	123
3	帝国主義と国際衛生体制	124
4	近代における人口管理としての「保健」	125
5	グローバルな保健安全保障	128
6	安全保障問題としての保健を超えて	131
7	おわりに——保健を「ノン・ヒューマンとの共生」で考える	134
第 8 章	人間の安全保障論の現状と展望……………古澤 嘉朗	138
	——政策と研究の交錯点としての人間の安全保障	
1	SDGs と人間の安全保障	138
2	「人間の安全保障」概念とは	139
3	人間の安全保障論と保護する責任論	143
4	紛争後・移行期社会への政策的示唆——平和構築に着目して	145

5	人間の安全保障論は「吠えなかった犬」なのか？	148
第9章	経済安全保障 ……原田 太津男	153
	——安全保障諸概念の深層へ向けた問いかけ	
1	〈手段〉ではなく〈実体〉としての経済安全保障へ	153
2	批判的安全保障論における経済安全保障	155
3	ニオクリアスの重層的な経済安全保障論	159
第10章	グローバルな移民／難民問題と安全保障 ……柄谷 利恵子	174
	——移民／難民の境界線の画定と名付け	
1	「移民／難民問題」の構図	174
2	国境を越える移住者を区分する移民／難民の境界線	176
3	移民／難民の境界線の創出と硬直性	180
4	狭間に陥る者を切り捨てないために	185
第11章	批判地政学と安全保障 ……北川 眞也	190
	——地政学をローカルに考えて見えてくる世界の複雑さ	
1	地政学と安全保障	190
2	批判地政学と言説	192
3	地政言説による現実の構成	195
4	フェミニスト地政学の挑戦	199
5	絡み合う地政学（geopolitics）と生政治（biopolitics）	201
6	ネットワーク地政学、情動の地政学	203
7	ローカル化される地政学、反地政学、オルタナティブ地政学	206
第12章	テロリズムの夜明け、リアリズムの黄昏 ……小林 誠	213
	——拡散する例外状態	
1	銃声と爆発音	213
2	テロリズムを定義する	214

3	定義を破壊する	217
4	政治的ラベリングのパフォーマンス	218
5	ヒトラーへのテロリズム	222
6	批判的テロリズム研究とリアリズムの黄昏	224
第13章	日米同盟／在沖縄米軍基地システムの中の沖縄…	南山 淳 230
	——解放／承認としての安全保障	
1	日米同盟と沖縄をいかに再節合するか——批判的安全保障論の射程	230
2	平和憲法／日米安保体制の二重構造——非対称同盟の系譜学①	232
3	統治性としての日米同盟——非対称同盟の系譜学②	234
4	構造的沖縄差別とセキュリタイゼーション	236
5	日常化する例外状態と解放／承認としての安全保障	240
	——普天間／辺野古基地移設問題をめぐって	
あとかき		
事項索引		
人名索引		